

平和・自立・共生 ともにつくる黄金南風の平和郷・はえばる

はえばる議会だより

平成26年
9月定例会
No. 187

平成26年11月21日発行



議会構成決まる.....

②

地すべり防止対策工事求める.....

⑤

14人の議員が一般質問.....

⑥

写真：赤嶺奈津江議員（新川）
「チバリヨー ワッター自慢の北丘魂
第33回 北丘小学校大運動会」
題字：新垣雅之さん（津嘉山）

はえらん



南風原町議会の構成決まる

議長就任あいさつ



宮城 清政

このたび、議員の皆様のご推挙を受けまして議長のお職に就くことになりました。特に今回は指名推選という形を受け、全会一致での推挙で大変光栄であります。私は、自らの浅学非才を顧みますと非常に責任の重さを痛感し、本町の発展と町民の福祉向上のために誠心誠意努力を致す覚悟でございます。

昨年12月には議会機能を強化し、町民の信頼に的確に応えるため、議会に関する基本的な事項を定める「議会基本条例」を制定しました。町民は町長にも期待しておりますが、我々議員にも同等に期待していると思えます。その期待に応えられるよう議員一緒になつて取り組んでまいります。

町議会が、多様化する町民ニーズに応えることができよう、事業の必要性を的確に判断し、執行部と一体となつて本町の発展を目指すべく職務を全うする覚悟であります。町民の皆様におかれましては、一層の御協力、御鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

第18期議会議員の紹介

任期：自平成26年9月28日
至平成30年9月27日

表記説明



役職
ふりがな
氏名
住所(当選回数)<所属政党>



あらかき よしお
新垣 由雄
与那覇34 (1回)<無所属>



副議長
ちねん とみのぶ
知念 富信
兼城435-27 (3回)<無所属>



議長
みやぎ きよまさ
宮城 清政
本部192 (4回)<無所属>



てるや hitoshi
照屋 仁士
神里223 (2回)<無所属>



おおぎみ ようぶん
大宜見 洋文
宮平641-7-502 (2回)<無所属>



おおしろ まさる
大城 勝
照屋290-2 (1回)<無所属>



はなしろ せいぶん
花城 清文
新川201 (2回)<無所属>



うらさき
浦崎 みゆき
宮平432-10 (2回)<公明党>



あかみね なつえ
赤嶺 奈津江
新川171-1 (2回)<無所属>



みやぎ かんじゅん
宮城 寛諄
山川102 (7回)<日本共産党>



おおしろ つよし
大城 毅
喜屋武356 (5回)<日本共産党>



あかみね まさかず
赤嶺 雅和
神里154 (3回)<無所属>



おおしろ まさたか
大城 真孝
津嘉山687 (7回)<無所属>



きんじょう よしはる
金城 好春
津嘉山390 (4回)<無所属>



たまき いさむ
玉城 勇
宮城75 (5回)<無所属>



うえはら きよこ
上原 喜代子
神里34 (4回)<無所属>

総務民生常任委員会	経済教育常任委員会	議会広報常任委員会
委員長 浦崎みゆき	委員長 玉城 勇	委員長 金城 好春
副委員長 金城 好春	副委員長 上原喜代子	副委員長 赤嶺奈津江
委員 新垣 由雄	委員 知念 富信	委員 大宜見洋文
大城 勝	花城 清文	照屋 仁士
大宜見洋文	赤嶺 雅和	赤嶺 雅和
照屋 仁士	宮城 寛諄	宮城 寛諄
赤嶺奈津江	大城 真孝	
大城 毅		

議会運営委員会	
委員長 大城 真孝	
副委員長 赤嶺奈津江	
委員 照屋 仁士	浦崎みゆき
大城 毅	玉城 勇
金城 好春	

委員会とは？

町議会で取り扱う事件を「議案」と呼び、その内容は多岐にわたるため、議員は「総務民生」「経済教育」いずれかの常任委員会に所属し、専門的・効率的に議案の審査を行います。また、広報・広聴を行う「議会広報常任委員会」や議案の処理や議会運営を円滑に行うための「議会運営委員会」が設置されています。

ここが聞きたい

施策を問う



照屋 仁士 議員

まちづくりを上向きに

答 今後も自治会と連携を深めたい



63年ぶりに復活したハーベールモーイー (本部)

問 南風原町をつくるのは「ひと」だと考える。社会教育について問う。

各字、地域では地道な地域活動が見られる。一方、町の連合会組織は加盟数や連帯活動において盛り上がりに欠けている。

答 さらなる現状分析や社会教育団体に寄り添った対応が求められるのではないかと。

教育長 社会教育団体に寄り添ったかたちで盛り上がるよう進めていく。

問 最も住民に近い地方自治は「自治会」とあると考える。これまで自治会加入率の問題等も指摘してきた。自治会への支援は十分か。地域コミュニティの維持だけではなく、発展に向けた検討を重ねていくべきではないか。

副町長 字・自治会と町行政の連携は、町の発展に不可欠である。今後も自治会との連携を深めたい。

それ以外のびんごを上向きに

問 町は住民に一番身近な行政である。だからこそ国や県には届かない、町民一人一人の声を拾い上げ、暮らしを上向きに導いていく姿勢が必要となる。現状だけを良とせず、絶えず行政サービスの改善に努める必要があると考えるがどうか。

副町長 引き続き住民サービスの向上に努めたい。

問 本部区にある古民家(謝名家)の修復工事は進んでいるか。

経済建設部長 壁や屋根の修復を進めている。トイレはまだ着工していない。



古民家チャンプルーコンサート

問 遠足コース拡大のひとつとして、一括交付金を活用し、金城哲夫氏の資料館を検討してはどうか。

経済建設部長 ウルトラムンの生みの親である金城哲夫氏を記念して何がふさわしいか検討中である。アイデアを集め、企画案を練っている。

南風原町を上向きに

問 本町を上向きにしていくには、広く大きな視野が必要である。他市町村や国・県に学ぶだけでなく、議員提言や町内外からの提案に耳を傾けてもらいたい。多くの意見が施策に反映されることを望むがどうか。

副町長 前例にならうだけでなく、町民をはじめ多くの提案・提言に耳を傾け、町の施策に反映させたい。

給食費未納は改善されたか

問 徴収体制に変化があれば給食費の収納率も上がると思う。給食費の徴収をどう改善したか。

教育部長 従来の戸別訪問を見直し、給食センターへ出向いてもらう方法に変えた。長期未納者とは納付誓約書を交わし、分割納付で確実に履行する方法に取り組んでいる。成果は上がってきている。

問 給食費未納に対して第三者も含めた検討委員会の立ち上げはどうか。

教育総務課長 検討委員会の設置は調査の段階である。

遠足コースの確立と観光資源の用途拡大を

答 さらなる発展ができるように対応したい



上原 喜代子 議員

問 子ども達が遠足で本町を体験・体感することが観光発展につながるかと考える。いかなるアンケート調査よりも観光事業として実を結ぶ。町内に遠足コースを増やす調査研究をしたことがあるか。

経済建設部長 子ども達の遠足コースとしての考え方も含め、観光客誘致を煮詰めたい。今後も本町の観光がさらに発展するよう対応していく。

問 観光バスを利用した来町者の推移と状況はどうか。

副町長 来町者は人数把握のみで移動方法は調査していない。そのため、観光バス利用の具体的状況は把握できていない。

問 修学旅行でもグループを組んだ分散型が主流と考えられるが調査したことはあるか。

経済建設部長 修学旅行に対する調査は行っていない。今後検討していく。



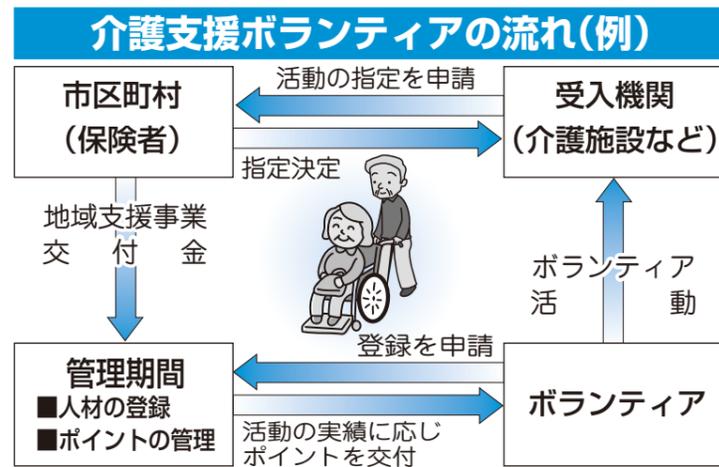
浦崎 みゆき 議員

認知症の対策を急げ

答 認知症対策を検討していく

問 認知症患者は全国で460万人いると言われている。また、認知症800万人時代が来ると予想されている。介護予防の推進のため介護支援ボランティアポイント制度を導入できないか。

副町長 ポイント制度は平成28年4月導入を目指している。



問 認知症サポーターを増やす考えはないか。

民生部長 認知症サポーター養成講座を35人が受講した。引き続き開催し、養成に努めたい。

問 福祉事業者と町民のマッチングを図るシステムを作れないか。

副町長 65歳以上の4人に1人が認知症状があると言われるため認知症対策を講じた。

教育支援員(ヘルパー)の充実と強化を

問 特別支援教育支援員(ヘルパー)配置の現状と課題を問う。

教育長 幼小中合わせて39人のヘルパーを配置している。研修会等で個々に応じた支援をしている。支援員の確保が課題である。

問 保護者、ヘルパー、担任のコミュニケーションが取れる体制は整っているか。

教育長 学校単位で担任、コーディネーター、ヘルパー等で月1回程度の情報共有等の会議を行っている。保護者と学級担任は必要に応じて面談もしている。

町民と共に記念式典を

問 平成27年は町制施行35周年を迎える。

これまで町民とともに歩んできた道のりを振り返り、また展望を新たにす意味も込めた町民参加型の町民音楽祭を行う考えはないか。

町長 来年は終戦70周年を迎える年でもある。町としても平和と兼ね合わせながら町制35周年を含めた事業を検討したい。

役場前道路の植栽は、道路完了後の予定か。

副町長 植栽樹設置が完了している箇所は、樹種が決定すれば早めの植栽が可能であると南部土木事務所に確認した。兼城区と役場の意見を踏まえ決定したいと聞いている。

南風原バイパスの進捗状況は

問 南風原バイパスの工事完了時期はいつか。

副町長 平成25年度末で事業進捗率は約30%である。用地取得の一定の進捗など、事業実施環境が整った段階で工事完了時期は公表される。

南部医療センター横の未整備箇所は今年度完了予定と南部国道事務所より聞いている。



津嘉山区は年々人口が増え続けている

兼城十字路にモニュメント設置を

問 兼城十字路の工事完了が待ち遠しい。交番跡地に花壇やモニュメント等を設置する考えはないか。

総務部長 南風原町の玄関口であるため、景観を重視しながら設置を検討したい。

人口増による津嘉山校区の見直しは

答 校区の見直しは考えていない



知念 富信 議員

問 津嘉山区は、人口が年々増えている。校区見直し等の議論をしているか。

教育長 津嘉山小学校の10年後を推計すると生徒数は892人と予測される。941人であった過去もある。また、翔南小学校は横ばいに推移すると予測される。そのため、校区の見直しは議論していない。

問 本町の65歳以上の人口比率は県内で最も低い。ますます若年層が増えると思う。通院、入院のことも医療費無料化は継続できるか。

副町長 平成26年4月にこども医療費の中学生の通院まで無料化を開始した。保護者から大変喜ばれている。今後も制度の周知を図り、継続していく。

問 自治会には加入率の問題がある。新住民に対し、住民異動等の窓口で手続きの際、自治会加入の指導ができないか。



赤嶺 奈津江 議員

高齢者等の外出支援 サービス充実を

答 どのような支援ができるか検討したい

問 高齢者や障がい者が買物や通院、銀行等に行く際に利用できる外出サポートができるか。

副町長 町社協が実施しているまちづくりサポートセンターの外出介助を利用してほしい。障がい者は、町社協の障がい者福祉サービスが利用できる。

問 対象を限定しない外出支援サービスを検討したことはあるか。



町社協の外出支援サービス

副町長 外出支援サービスや移動支援事業は対象要件があるため利用できない場合もある。今後どのような支援ができるか検討したい。

介護保険住宅改修の現物給付化を

問 現行の介護保険制度を使ったリフォーム事業では、改修費を全額支払いし、後日利用者に介護給付費が振込まれる。個人負担分の支払いだけで済むようにできないか。

副町長 沖縄県介護保険広域連合が平成26年9月1日に「福祉用具購入費及び在宅改修費の受領委託支払に関する要綱」を制定した。平成26年12月1日から運用される。沖縄県介護保険広域連合に登録した事業者を利用するなど、一定の要件を満たせば個人負担だけの支払いで済むように変わる。

児童生徒の生活習慣病予防を

問 昨今、生活習慣病の低年齢化が問題となっている。そこで、小中学校でも血液検査などを実施できないか。生活習慣病の低年齢化や重症化を防ぐ対策になるのではないか。

副町長 児童生徒の健康づくりは学校保健安全法とも関係している。教育委員会と調整しながら検討したい。

民生部長 県内では久米島町と南城市の2か所が実施している。非常に重要なことなので、子ども達の健康のために血液検査などを検討する。

師からは、町長自らが健康管理に努力すれば、町民も納得するので頑張ってもらいたいとエールが送られている。

問 健康づくりをより普及させるため、地域の応援スタッフの育成ができないか。

民生部長 健康づくり推進協議会があり、数名の委員で構成している。それを地域（字）単位で組織化したい。委員を募り健康に関心を持つような組織を作っていきたい。

こんな質問もしました

- ・ 老朽化した照屋青年会館トイレの修理を
- ・ 全町民参加型運動会の開催を
- ・ 町陸上競技大会を盛り上げるために

食のスタイル変え、健康なまち南風原へ

答 野菜を多く摂取する料理を勧めていく

問 町の特定健診の結果から何が分かるか。

副町長 町の特定健診の結果からメタボリック症候群が約4割、高血糖が5割いるという実態が分かった。脂肪の摂りすぎと野菜の摂取が少ないと町民の食生活を分析している。

分析を基に個々の基準量を考え、食品に含まれる脂の量を伝えること。また、油を使わない料理、野菜を多く摂取する料理を勧めていく。

問 健康意識を高めるための普及啓発方法はどんなものか。

副町長 普及啓発として町民への健康レシピカレンダーの配布、交差点などの横断幕掲示、チラシ配布、ポスターの掲示、食の講演会、説明会の開催などに取り組んでいる。



健康レシピカレンダー

問 食生活改善への取り組みで町民の反応をどう捉えているか。

副町長 食に関する講演会やパネル展示を文化センターで開催した。町民の反応として、「食の大切さを知り、油の使い方や野菜の摂取に気を使いたい」など食生活の見直しや改善の意見が多かった。

問 健康への意識を高めることが重要である。町長の健康づくりに対する考えを問う。

町長 保健指導のもと、自身の健康管理には努力している。運動では万歩計を活用し、食事面では油もの料理を控え、野菜類を意識して摂るようにしている。担当の保健



大城 勝 議員



金城 好春 議員

小中学校の 学力向上を問う

答 授業改善の積み重ねが功を奏した

問 本町の小中学校の学力テスト結果は、県平均と比べてどうか。さらに全国平均と比べてどうなっているか。

教育長 小学校、中学校共に国語A・B、算数(数学)A・Bで県平均を上回っている。小学校は国語A、算数A・Bが全国平均を超えている。特に、算数Aでは全国平均正答率78.1%に対し、本町の平均正答率は82.5%と高得点である。

中学校は全国平均には及ばないが、昨年より全国との差を半分近く縮めた。

問 本町は電子黒板を各学級に配置した。児童生徒の学習意欲や学習態度に変化はあるか。先生方の電子黒板に対する評価はどうか。

教育長 児童生徒から授業の内容が分かりやすいと意見がある。学習意欲の向上につながっている。教師からは視覚的な効果で児童生徒の視点を

集めることできると声がある。興味関心を持たせ、授業内容への理解を深めることに役立っていると評価を得ている。

問 今回、学力が向上した要因を何と考えるか。

教育指導主事 学力向上対策から学力推進に変え、教師も授業改善に取り組んでいる。朝の自習時間や昼休み時間、放課後に下位の子どもの補習授業を個別に行っている。このような積み重ねが功を奏したと考える。

町道に「カンナの花通り」の愛称を

問 本部公園前の町道6号線と町道29号線を「カンナの花通り」と名付けることはできないか。そのうえで看板の設置ができないか。



本部公園前はカンナの花で溢れている

こんな質問もしました
・南風原南ICにおける交差点の安全対策を

問 市街化区域と農業振興地域の人口に大きな開きがある。何が原因と考えるか。

副町長 市街化調整区域内で土地利用がうまくなされていないことは一つの要因と考える。

平成16年度に市街化調整区域内で自己用住宅緩和区域が全域的に定められた。調整区域内でも自己用の住宅が多く建築されている。緩和区域をうまく活用し、土地利用を行うことで段階的に人口増が望めると考えている。

問 本町は那覇広域都市計画区域の中に含まれている。そのため町独自の都市計画が難しいと聞く。那覇広域都市計画から抜けることはできないか。

町長 南風原町には南風原町のまちづくりがある。独自のカラーを出すために広域から抜けることも検討が必要と考える。本町だけの問題ではない。隣市町村と協議し、まちづくりを考えていきたい。

学力向上と教育環境は

問 例年、沖縄県の子どもの学力テスト結果は下位に甘んじている。何が原因と考えられるか。

教育長 全国学力学習状況調査結果で本県は下位に位置している。原因として、本県は夜型社会がある。

- ・朝食摂取率が全国平均より低い
 - ・就寝起床時間が全国に比べ不規則
- など子ども達を取り巻く生活習慣で問題がある。家庭学習時間が少ないことも原因と考えられる。

問 夏場の教室の温度は子ども達が集中できるような環境と思えるか。

教育長 教室の温度は「学校環境衛生基準」で「10℃以上、30℃以下が望ましい」とされる。夏場には33℃となる教室もある。児童生徒が集中できないこともあると思う。



授業風景

こんな質問もしました
・津嘉山駐在所の復活を

本町の都市計画と 人口への影響は

答 土地利用がうまくなされていない



赤嶺 雅和 議員



大宜見洋文 議員

南風原町の人財育成を

答 対応できるように努力する

問 人財(人材)育成の促進のため「南風原町民大学」を創設できないか。
教育長 平成27年度の実施計画で対応できるように努力する。

県宮団地の建替計画は

問 第一団地・第二団地の建て替えが予定されている。まちづくり基本条例に沿った地域づくりとの整合性が取れる計画となっているか。
副町長 県は平成24年度から住民説明会やアンケートを実施している。誰もが安心して暮らせるような整備計画となっている。

翔南第二学童クラブ設置を

問 学童の「小1の壁」をどう認識するか。
副町長 定員等により学童に入れない低学年児を抱える共働き家庭が直面する問題と考えている。

問 翔南小区は他校区と比べ学童の割合が低い。待機学童の解消に向け、翔南第二学童クラブを校内に増設できないか。
副町長 小学校に空き教室がなく難しい。待機学童の対応策を協議する。



学童の様子

公民館まで巡回バスを

問 社協と連携して巡回福祉バスを中央公民館まで運行することはできないか。
副町長 定期的に中央公民館のルートを運行するのは現体制では難しい。他の公共施設を含めた運行ルートは財源などを踏まえ検討する。

図書館協議会の充実を

問 図書館協議会をもっと充実させるべきではないか。協議会の委員に2中学校4小学校から1人以上増員してはどうか。多くの意見や議論を深め、図書館の利用促進に向けた協力体制が必要ではないか。
教育長 町立図書館協議会委員は過半数をボランティア関係者と学校関係者で構成している。各委員の見識、各学校の情報を網羅して協議会を充実させたい。

こんな質問もしました

- ・ 中小企業振興条例は
- ・ 長堂川の悪臭対策を



大城 毅 議員

保育園増設で待機児童解消を

答 認可外保育園の認可化も検討

問 潜在的待機児童を含め、保育ができるよう認可保育園を増やすべきではないか。
副町長 認可外保育園の認可化は、潜在的待機児童の解消に向けた方策の一つと捉えている。

こども医療費助成の窓口無料を

問 こども医療費で窓口無料(現物給付方式)を行っている都道府県はどうか。
副町長 こども医療費の現物給付方式は47都道府県中22か所が実施している。現物給付・自動償還方式の併用は15か所ある。

問 窓口無料(現物給付方式)を実施できるように県の要綱改正を求めるべきではないか。

副町長 県から「自動償還制度が始まったばかりのため、予定はない」と回答があった。県の動向を踏まえ慎重に対応していく。



こども医療費は中学校まで無料となっている

住宅リフォーム助成の拡充を

問 住宅本体に限らず、車庫や塀、外構、店舗の改修にも対象を広げてはどうか。
副町長 家屋の経年劣化による需要が多いことから、今後も現状の制度で進めていく。

問 住宅リフォームで使う資材・材料などの町内調達を促進する仕組みも取り入れてはどうか。
副町長 住宅リフォーム制度の応募の際に町内で産出または製造された製品を優先使用するように協力を求めている。資材・材料の町内調達を要綱等で規定するのは状況を見ながら進めたい。

こんな質問もしました

- ・ 新基地建設の強行について町長の見解は
- ・ 県知事選挙について町長の見解は

与那覇地域に公園を

答 親しまれる公園づくりを検討する



新垣 由雄 議員

問 現在、南風原町にはいくつ公園があるか。

副町長 本町の都市公園は7公園ある。農村公園として整備した地域は4地区ある。

問 現在、公園整備を行っているのは何件で、どの公園か。

副町長 現在整備中の公園は、黄金森公園とウガンヌ前公園の2か所である。

問 町の第三次総合計画では「一字一公園」が記されていた。目標に取り組んでいるか。

副町長 現在、第四次総合計画に沿った町行政に取り組んでいる。第四次では第三次の一字一公園目標を修正した。町民1人あたりの公園面積を9㎡とすることを目標としている。そのため、一字一公園に向けた取組はしていない。

問 住みよい環境づくりが求められる。健康づくりや青少年健全育成、北地区公共施設整備の観点から与那覇地域に公園を造れないか。

副町長 規模にもよるが与那覇地域に新規の公園計画を行う必要があると考える。

公園計画の際には、地域との意見交換会で提案を求めたい。地域住民に親しまれる公園づくりを検討していきたい。

通学路の整備を

問 与那覇401番地4から町道32号線、400番地3の横に出る通学路は雨降りあとは滑って危険である。整備できないか。

副町長 排水路や汚水枡に段差が生じていることを確認した。危険箇所の保護対策を講じたい。

与那覇の下水道整備は

問 町全体および与那覇地域内の下水道整備の進捗はどうか。

副町長 町全体で約46%、与那覇区は75%整備している。

問 与那覇区で下水道工事の予定はあるか。

副町長 1〜34番地付近と95〜101番地付近の2区域を平成27年度に整備する予定がある。



質問の箇所はその後整備された

問 シルバー世代には豊富な人生経験と培ってきた技がある。まちづくりに活かすことは町民の手助けとなる。また、働くことで生きがいづくり、健康増進にもつながると考える。

副町長 シルバー人材センターの設立を進めることが、協働のまちづくりの総合計画にも合致するのではないか。

副町長 町社協の有償ボランティア制度「まちづくりサポートセンター」「ファミリースポーツセンター」や役場内の「人材サポートセンター」等を利用し高齢者の働ける場所づくりを検討していきたい。

副町長 クーラー設置計画は

問 温度が30℃を超える教室があると以前報告があった。授業に集中できる環境だと見えるか。

シルバー人材センター設立を

答 高齢者の働ける場所づくりを検討していく



宮城 寛諄 議員

副町長 30℃を超える教室では児童生徒が授業に集中できないこともあると思う。

問 他市町村と比べて小中学校の教室環境は授業に集中できるか。

教育長 環境差は特にないと考える。しかし、クーラーが設置された教室と比べると授業に集中できない場合もあると思う。

問 県内のクーラー設置率は小学校68%、中学校67.5%、高校は平成27年度中に100%になると報道があった。県教育長は「クーラーの有無で学習効果に影響もある」と見解を示している。これをどう考えるか。

教育部長 風通しや扇風機で温度改善できない教室は、今後クーラーを設置していく体制で臨みたい。

北丘小学校の地震対策は十分か

問 北丘小学校の新川側法面や運動場南側擁壁の耐震調査を行っているか。避難所ともなるため、万全を期する必要があるがどうか。

教育長 新川側法面は平成26年度に法面調査を行う。27年度の設計で地震対策を検討する。擁壁調査は行ってない。必要に応じて対応したい。



北丘小学校運動場南側の擁壁

こんな質問もしました

- ・ ファーマーズマーケットについて
- ・ 山川区内の安全対策を



玉城 勇 議員

自治会の地域力を高めるためには

答 地域の特徴に応じた協力を行う

問 各字・自治会は町行政の出先機関のような仕事もやっている。地域公民館が健全な運営をすることで町の行事もスムーズに進むと思う。各字・自治会の運営状況を聞いたり、悩みなどを聞く場を設けてはどうか。

総務部長 各地域には長い歴史がある。今後意見交換を行い、それぞれの特徴を出しながら各字・自治会に協力したい。

陸軍病院壕群20号壕の器物破損はどうなった

問 平成26年8月1日の新聞（沖縄タイムス）に南風原陸軍病院壕群20号壕のドアが壊され、荒らされたという事件が掲載された。与那原警察署も捜査を進めるとあるが解決したか。

教育長 事件直後に与那原警察署による指紋や足跡の採取など鑑識活動が行われた。それを基に捜査を行っている段階である。犯人は捕まっていない。

問 事件後の対策として防犯カメラ等の設置を検討したか。

教育長 防犯カメラは財政的に厳しいと思うが、設置を検討している。

給食を無料にできないか

問 幼稚園、小学校、中学校の学校給食費を無料にすると予算はいくら必要か。

教育長 平成26年度当初予算をベースに積算すると、園児・児童生徒で2億円余になる。

問 給食費を無料とする場合、今の財政状況では無理なのか。

教育長 現段階では無料化よりも次のことが重要である。
・保護者負担をしっかりと守ってもらうこと
・徴収体制を整えて収納率の向上に努めること
給食費の支払いが困難な世帯には就学援助等の方法もあるため、十分周知したい。



おいしい給食を日々作っています

こんな質問もしました
・国保税の徴収計画は
・財政調整基金について

問 南風原町で一番危険な通学路は新川から北丘小学校への階段ではないかと考える。

平成26年度予算で階段の基本調査費が計上されているが完成までの計画はどうなっているか。工事期間中は仮設の通学路も必要だが計画はあるか。

教育長 平成26年10月6日に契約は締結したが、工期は平成29年度までかかる。仮設の通学路は児童生徒の安全を考え検討していく。

北丘小学校通学路の草刈りを

問 新川から北丘小学校への階段は亀裂がひどく危険である。しかも草が繁茂している。階段と法面の草刈りを町で実施できないか。

教育長 草刈り費用を予算化して対応していく。

新川から北丘小への通学路の整備を

答 児童生徒の安全を考え検討していく

兼城区の地滑り対策は

問 兼城351番地付近は斜面に亀裂が広がり、住民は地滑りを心配している。地滑り対策は以前に講じられたが、もう一度現場を調査し必要な対策を取るべきではないか。

副町長 再度、県へ現況調査を要請していく。

幼小中学校にクーラーを

問 幼稚園は延長保育や預かり保育などで保育環境が大きく変わった。小学校や中学校でも児童生徒が集中して学習ができる環境が求められる。本町も幼・小・中学校にクーラーを設置してはどうか。
町長 風通しの悪い教室を優先にクーラーを設置したい。

サッカー場の整備を

問 本町はサッカーをする場所がなく青年達は整備を待ち望んでいる。清掃工場の最終処分場跡の利用を那覇市と協議し、サッカー場の整備をしてはどうか。

町長 最終処分場の不純物が沈下するまで整備は厳しい。状況を見守り、今後活用できるように要請も行いたい。



幼稚園の様子



花城 清文 議員

町民の声



魅力ある図書館を

南風原町PTA連絡協議会会長

うえはら けんじ
上原 健治さん(大名)

南風原町は、とても住み心地の良い人気の町になったと思います。

大型ショッピングセンターやマンションなどが建ち、人口も増加しています。

最近では、つかざんトンネルの開通で那覇市方面や八重瀬町辺りからも娯楽や食事、ショッピングを楽しむ人たちも増え、南風原町の経済効果にも大きく

関わっていると思います。

地域と小中学校の教育意識も高く、あいさつを積極的にする子ども達も多くいます。

子ども達の教育環境の充実のために検討していただきたいのは、図書館の増設と小中学校の図書室への本の増冊です。

保護者同士の話からは「図書館が近くにあったら」「学校の図書室の本が古い」などの声を

よく聞きます。子ども達の成長に読書は欠かせないものです。

「本が好きだけど図書館が遠い」「本を読みたいけど図書室の本はほとんど読んだ」と言う子ども達も多いようです。

南風原町、沖縄県を担っている子ども達のためにも、図書館の設置や学校の本を増やす検討をしていただきたいと思います。

表紙の写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の写真を募集中です。笑顔あふれるお写真をお待ちしています。ご意見・要望なども広く募集しています。

連絡先 議会事務局(担当:広報係 保良)

TEL.889-3097 FAX.889-4499

E-Mail:H8893097@town.haebaru.okinawa.jp

編集後記

9月7日に町議会議員の改選が行われました。9月29日からは新メンバーによる初めての定例会が開催され10月15日に終了しました。再選の議員もそうですが、新たに加わった3人(元職1人、新人2人)も9月定例会では活発に質問や提言等を出しました。新鮮で明るい雰囲気での定例会だった気がします。

今号からは新メンバーで議会広報を編集しました。町民に喜んでもらえる議会だよりをお届けしたいと思います。

(担当/金城好春)

広報委員会 “始動”



平成26年9月より4年間、新たな体制で広報広聴に取り組みます。



赤嶺 雅和
照屋 仁士
赤嶺奈津江 (副委員長)
金城 好春 (委員長)
大宜見洋文
宮城 寛諄

さらに分かりやすく、親しみやすい広報誌を目指します。



次回定例会の開会予定

12月9日(火)午前10:00

南風原町議会中継

検索